

事業所名: ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

インターネット回答用 ID : xxxxxx

Pass : xxxxxx

※全て小文字です

サービス提供事業所

「大田区障がい者実態調査」へのご協力のお願い

日頃から区行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

このアンケートは、次期「おおた障がい施策推進プラン」の策定、事業の改善・向上に向けて、サービス提供事業所の方のご意向を把握するためのものです。

事業所の概要やサービスの提供状況、事業運営の状況など把握するために、お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力をお願い申し上げます。

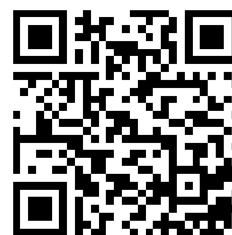
なお、ご回答いただいた内容を貴事業所が特定される形で公表することはありません。

令和7年11月 大田区長 鈴木 晶雅

「1. インターネット」か「2. 紙(郵送)」のいずれかでご回答ください。

1. インターネットでご回答される場合

二次元バーコード等から調査専用サイトへアクセスいただき、最初の設問に、このページの左上のシール内にある ID・パスワードをご入力の上、**11月30日(日)までにご回答** ください。



URL : <https://smilesurvey.co/s/d1b4cf90/o>

2. 紙(郵送)でご回答される場合

この調査票にご回答いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**11月30日(日)までにお近くの郵便ポストに投函** してください。

◆ 令和7年11月1日現在の状況をお答えください。

【お問 い 合 わ せ 先】

大田区 福祉部 障害福祉課 障害者支援担当(計画)

電話 03(5744)1700 (月曜日～金曜日(祝日を除く) 9時～17時)

FAX 03(5744)1592 E-mail shoufuku-chousa@city.ota.tokyo.jp

1. 事業所概要

問1. 貴事業所の運営主体の法人種別をお答えください。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 社会福祉法人	2. 医療法人	3. 財団法人・社団法人	4. NPO法人
5. 株式会社・有限会社	6. 合同・合資・合名会社	7. その他〔	〕

問2. 貴事業所で働いている「常勤」と「非常勤」の方の11月1日時点の人数をご記入ください。

常勤 【	】名	非常勤 【	】名
------	----	-------	----

問3-1. 貴事業所では、職員の確保状況についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 十分確保できている ⇒ 問3-3へ	2. 運営に支障が出ないくらいは確保できている ⇒ 問3-3へ
3. あまり確保できておらず、運営にも支障が出ている ⇒ 問3-2へ	4. 確保できておらず、運営への影響が大きい ⇒ 問3-2へ

問3-2. 【問3-1 で「3. あまり確保できておらず、運営にも支障が出ている」、あるいは「4. 確保できておらず、運営への影響が大きい」と回答した事業所にお伺いします】

現在、サービスの提供にあたり不足している職種をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

1. 生活相談員・生活支援員	2. 相談支援専門員	3. 介護職員	4. 介護補助員
5. 看護師	6. 栄養士	7. 理学療法士	8. 作業療法士
9. 職業指導員	10. 事務職員	11. その他〔	〕

問3-3. 貴事業所では、職員を確保するために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取 組	(1)現在、実施している取組	(2)実施したいが、できていない取組
① 採用にあたって、多様な募集ルートの活用	1	1
② 業務内容の説明等による、求職者と事業所とのミスマッチの解消	2	2
③ 他事業所と比較して賃金の優遇	3	3
④ 資格取得にかかる費用の助成	4	4
⑤ 福利厚生の実施	5	5
⑥ 法人内での人事異動の実施	6	6
⑦ 特になし	7	7
⑧ その他〔	8	8

問3-4. 貴事業所での職員の確保における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 求人に対して人が集まらない
2. 専門的な資格を持つ方からの応募が少ない
3. 採用活動を行う時間的な余裕がない
4. 採用活動の費用を負担する余裕がない
5. 採用活動を行う人員が不足している
6. 勤務体系や給与等の改善・充実が困難である
7. 公共交通でアクセスしにくい場所に立地している
8. 特になし
9. その他〔
〕

問4-1. 貴事業所では、職員の育成のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取 組	(1)現在、 実施している取組	(2)実施したいが、 できていない取組
① 能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映	1	1
② 仕事に必要な能力等の提示	2	2
③ O J Tの実施	3	3
④ 新人の指導担当・アドバイザーの設置	4	4
⑤ 法人内部研修の実施	5	5
⑥ 外部研修・研究会への参加	6	6
⑦ 資格取得支援	7	7
⑧ 定期的な面談の実施	8	8
⑨ 人事評価制度の実施	9	9
⑩ 特になし	10	10
⑪ その他〔 〕	11	11

問4-2. 貴事業所での職員の育成における課題は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 育成を行う時間的な余裕がない 2. 育成の費用を負担する余裕がない 3. 指導役となる職員が不足している 4. 研修等に参加させる人的余裕がない 5. 研修の情報収集や選定が難しい 6. 人事評価制度の実施や評価結果の活用が困難である 7. 事業所内の人材育成の計画や方針が明確でない 8. 特になし 9. その他〔 〕

問5-1. 貴事業所では、職員の定着状況についてどのように感じていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※今回の調査では、3年以上勤務した場合を「定着」とします。

1. 定着している（離職は少ない） ⇒ 問5-3へ 3. あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている ⇒ 問5-2へ	2. 運営に支障が出ないくらいは定着している ⇒ 問5-3へ 4. 定着しておらず、運営への影響が大きい ⇒ 問5-2へ
--	---

問5-2. 【問5-1で「3. あまり定着しておらず、運営にも支障が出ている」、あるいは「4. 定着しておらず、運営への影響が大きい」と回答した事業所にお伺いします】

定着率が低い・離職率が高い主な原因はどこにあると考えていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 賃金が低い等、給与・待遇の問題 2. 休みが取りにくい、業務が多い、勤務が不規則等、働き方や勤務形態の問題 3. 精神的にきつい、トラブルが多い等、仕事内容・労働環境の問題 4. 人間関係等、職場環境の問題 5. 資格取得の負担と処遇改善が合わない等、キャリアパスや将来展望、仕事のやりがいの問題 6. 施設が古く、設備環境も十分とは言えない等、職場の設備の問題 7. 福祉職の社会的なイメージの問題 8. その他〔 〕
--

問5-3. 貴事業所では、職員の定着のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取 組	(1)現在、 実施している取組	(2)実施したいが、 できていない取組
① 賃金・労働時間等の労働条件の改善	1	1
② 能力や仕事ぶりの評価に伴う配置・処遇への反映	2	2
③ 仕事内容と必要な能力等の提示	3	3
④ O J Tの実施	4	4
⑤ 新人の指導担当・アドバイザーの設置	5	5
⑥ 労働時間の希望を反映	6	6
⑦ 仕事内容の希望を反映	7	7
⑧ 悩み・不満などの相談窓口の設置	8	8
⑨ 定期的な面談の実施	9	9
⑩ 職場内のコミュニケーションの円滑化の実施	10	10
⑪ 特にない	11	11
⑫ その他〔 〕	12	12

問6. 福祉人材の確保・育成・定着に向けて区に望む支援施策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 面接会・相談会の機会の設定	2. 福祉・介護の仕事の広報
3. 潜在有資格者の把握や求人の紹介	4. 研修の充実
5. 区内福祉従事者同士の交流会	6. 区独自の人件費補助
7. その他〔 〕	

問7. 貴事業所において、対応している障がい種別等は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 身体障がい	2. 知的障がい	3. 精神障がい
4. 障がい児	5. 難病	6. 発達障がい
7. 高次脳機能障がい	8. 強度行動障がい(※1)	9. 重度心身障がい(※2)
10. 医療的ケアが必要な方		

※1 「強度行動障がい」とは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「状態」を指します。今回の調査では、「行動関連項目等の合計点数が10点以上である方」とします。

※2 今回の調査では「重度心身障がい」とは、「心身に特に重度の障がいがあるため、常時複雑な介護を必要とする方」とします。

2. 提供サービス

問8-1. 以下【A】～【G】について、以下の(1)(2)を教えてください。

(1)現在、貴事業所が提供している障がい者(児)に対するサービスについて、①1日の定員数と、②平均的な1日の利用者数について教えてください。該当しないサービスは①②ともに「0」とご記入ください。

(2)今後3年間のサービス提供の見込みを教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

【A】日中の活動の支援（通所）

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
生活介護	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
療養介護	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【B】自立のための訓練

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
自立訓練（機能訓練）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
自立訓練（生活訓練）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
宿泊型自立訓練	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【C】働くための支援

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
就労移行支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労継続支援（A型）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労継続支援（B型）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
就労定着支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【D】住む場所の提供と支援

サービス名	(1) 現状（ない場合は「0」と記載）		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①1日の定員数	②1日の利用者数	
共同生活援助 （グループホーム）	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
施設入所支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【E】一時預かり

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	① 1日の定員数	② 1日の利用者数	
短期入所	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
日中一時支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【F】障害児支援

サービス名	(1) 現状 (ない場合は「0」と記載)		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	① 1日の定員数	② 1日の利用者数	
児童発達支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
放課後等デイサービス	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
保育所等訪問支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
居宅訪問型児童発達支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
障害児相談支援	【 】人/日	【 】人/日	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【G】 その他

サービス名	(１) 現状（ない場合は「0」と記載）		(２) 今後３年間の サービス提供の見込み
	① １日の定員数	② １日の利用者数	
その他 〔 〕	【 】人/日	【 】人/日	１．拡大　２．新設　３．縮小　４．廃止 ５．現状維持　６．検討中

問8-2. 以下【H】～【L】について、以下の(1)(2)を教えてください。

(1)現在、貴事業所でサービスを提供されていますか。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

(2) 今後3年間のサービス提供の見込みを教えてください。(それぞれあてはまるもの1つだけ○)

【H】 自宅での生活支援（ホームヘルプ等）

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後３年間の サービス提供の見込み
	①あり	②なし	
居宅介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
重度訪問介護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
重度障害者等包括支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
訪問入浴サービス	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【I】外出・移動のサポート

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①あり	②なし	
同行援護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
行動援護	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
移動支援事業	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【J】相談支援・サービス利用計画の作成

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①あり	②なし	
相談支援事業	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
計画相談支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【K】地域で生活するための支援

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①あり	②なし	
自立生活援助	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
地域移行支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中
地域定着支援	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

【L】その他

サービス名	(1) 現状のサービス提供		(2) 今後3年間のサービス提供の見込み
	①あり	②なし	
その他 〔 〕	1	2	1. 拡大 2. 新設 3. 縮小 4. 廃止 5. 現状維持 6. 検討中

問9-1. 貴事業所では、現在提供しているサービスの質の向上のために、「(1)現在、実施している取組」は何ですか。
また、「(2)実施したいが、できていない取組」は何ですか。(それぞれあてはまるもの全てに○)

取 組	(1)現在、実施している取組	(2)実施したいが、できていない取組
① 専門職の配置	1	1
② ピアサポート職員の活用	2	2
③ 自主的に事業所内・法人内部で研修や勉強会の開催	3	3
④ 都や区、団体等が主催する外部研修に職員を派遣	4	4
⑤ ガイドラインやマニュアルを作成し、職員間で共有	5	5
⑥ ヒヤリ・ハット事例の収集や情報共有の実施	6	6
⑦ 利用者からの苦情を集め、検討し、職員間で共有するしくみの構築	7	7
⑧ 利用者への分かりやすい説明の徹底	8	8
⑨ ICT活用による、間接業務効率化の実施	9	9
⑩ 利用者やその家族へ満足度調査の実施	10	10
⑪ 事業所の取組や評価等についてホームページ等にて公開	11	11
⑫ 第三者機関からの評価の受審	12	12
⑬ 特になし	13	13
⑭ その他〔 〕	14	14

問9-2. 【問9-1の「(2)実施したいが、できていない取組」に1つでも○をつけた事業所にお伺いします】
実施できていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人材の確保や定着が難しく、質の向上を行う余裕がないから
2. 質の向上に必要な研修の参加や実施する時間的な余裕がないから
3. 質の向上に必要な経費（研修・設備等）を確保できないから
4. どのような取組が質の向上につながるかの情報が不足しているから
5. サービスの質を客観的に評価する指標や手法が事業所内にないから
6. 質の高いサービスを提供するための物理的なスペースや設備がないから
7. 国・自治体の制度や基準が現場の実態に合っていないと感じるから
8. その他〔

〕

問10. サービスの量的拡大に向けた課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 人材の確保や定着が難しく、サービスの量的拡大を行う余裕がない
2. サービスの量的拡大に必要な経費（研修・設備等）を確保できない
3. 障害福祉サービス等の報酬が十分になく、サービスの量的拡大まで対応できない
4. サービスの量的拡大を行うための、事業所スペースの確保ができない
5. 利用者を確保することが難しい
6. 特にない
7. その他〔

〕

問11-1. 貴事業所では、「医療的ケア」に対応していますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 医療的ケア者に対応している ⇒ 問11-2、11-3へ | 2. 医療的ケア児に対応している ⇒ 問11-2、11-3へ |
| 3. 現在対応していないが、今後検討する | 4. 現在対応しておらず、今後対応の予定はない |
| ⇒ 問12-1へ | ⇒ 問12-1へ |

問11-2. 【問11-1で「1. 医療的ケア者に対応している」、あるいは「2. 医療的ケア児に対応している」と回答した事業所にお伺いします】

対応している医療的ケアは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| 1. 人工呼吸器管理 | 2. 気管切開・気管内挿管 | 3. 鼻咽頭エアウェイ |
| 4. 酸素 | 5. 痰吸引 | 6. 吸入（ネブライザー） |
| 7. IVH（中心静脈栄養） | 8. 経管（経鼻・胃ろう含む） | 9. 腸ろう・腸管栄養 |
| 10. 透析 | 11. 導尿 | 12. 人工肛門 |
| 13. その他〔 | | |

〕

問11-3. 【問11-1で「1. 医療的ケア者に対応している」、あるいは「2. 医療的ケア児に対応している」と回答した事業所にお伺いします】

貴事業所で医療的ケアを実施するにあたって、課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 医療事故発生時の対応 | 2. 医療的ケアに対応する人材（看護師等）の確保 |
| 3. 緊急時における対応 | 4. 医療的ケアに対応した施設、設備の充実 |
| 5. 医療機関との連携 | 6. 特にない |
| 7. その他〔 | |

〕

問12-1. 貴事業所では、東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者が在籍していますか。また、今後、貴事業所における東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講予定はありますか。
(あてはまるもの1つだけ○)

- | | |
|--------------------------------|----------|
| 1. 受講した職員が在籍している | ⇒ 問13-1へ |
| 2. 受講した職員は在籍していないが、今後受講する予定である | ⇒ 問13-1へ |
| 3. 受講した職員は在籍しておらず、今後も受講する予定はない | ⇒ 問12-2へ |
| 4. わからない | ⇒ 問12-2へ |

問12-2. 【問12-1で「3. 受講した職員は在籍しておらず、今後も受講する予定はない」、あるいは「4. わからない」と回答した事業所にお伺いします】

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由は何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

- | |
|---|
| 1. 相談支援専門員や、保健師、看護師などコーディネーターに適任な職員がいないため |
| 2. コーディネーターの配置に対する経済的なインセンティブが少ないため |
| 3. 現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため |
| 4. 研修を受講する時間がないため |
| 5. コーディネーターの役割や業務内容がよくわからないため |
| 6. コーディネーターを配置すると、既存業務に支障をきたす懸念があるため |
| 7. その他〔 |

問13-1. 「強度行動障がい児・者」に対して、資格者や研修修了者がいる等、対応できる体制になっていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 対応できる職員がいて、対応している | 2. 対応できる職員はいるが、対応していない |
| 3. 対応できる職員はいないが、今後対応したい | 4. 対応できる職員はいないし、今後も対応する予定はない |
| 5. その他〔 | 〕 |

問13-2. 貴事業者で、強度行動障がい児・者を対応するにあつての課題は何ですか。(下欄に記入)

問14-1. 「重度心身障がい児・者」に対して、資格者や研修修了者がいる等、対応できる体制になっていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 対応できる職員がいて、対応している | 2. 対応できる職員はいるが、対応していない |
| 3. 対応できる職員はいないが、今後対応したい | 4. 対応できる職員はいないし、今後も対応する予定はない |
| 5. その他〔 | 〕 |

問14-2. 貴事業者で、重度心身障がい児・者を対応するにあつての課題は何ですか。(下欄に記入)

問15. 現在、精神障害者保健福祉手帳所持者が増加しているためお聞きます。貴事業所として精神障がい者の受け入れや対応にどのような課題がありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 精神障がいに関する専門職・人材の不足	2. 職員の知識・経験不足	3. 受け入れ施設・体制の整備
4. 急な対応やトラブル時の対応体制	5. 医療・福祉・地域との連携	6. 精神障がい者に対する偏見や誤解
7. 一人ひとりへの配慮・個別対応	8. 利用者の相談内容の複雑化・多様化	9. 本人の意思決定支援
10. 特にな	11. サービスの対象ではない	
12. その他〔		〕

問16-1. 次に挙げるような複合的な課題を抱えている等の困難事例について、利用者やその家族から相談を受けたことはありますか。相談を受けたことのある事例は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 障がいの重度化・重複化	2. 利用者本人の高齢化	3. 8050問題
4. 世帯の生活困窮	5. 借金	6. 日常のお金の管理
7. アルコール等の依存症	8. 虐待・DV	9. ひきこもり
10. ひとり親家庭	11. 介助や支援を要する家族が複数いる	12. 子どもが主な介助者・支援者である
13. 外国籍の方の言葉や文化の違い	14. 相談を受けたことはない	
15. その他〔		〕

問16-2. 【困難事例の相談を受けたことがある事業所(問16-1で「14. 相談を受けたことはない」以外に「○」)にお伺いします。】

複合的な課題を抱えている等の困難事例の相談を受けたときに、現在どのような機関や団体と連携していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区の地域福祉課・地域健康課・さぼーとびあ	2. 社会福祉協議会	3. 地域包括支援センター
4. 相談支援事業所	5. 他の障害福祉サービス提供事業所	6. 介護保険サービス事業所
7. 病院や訪問看護ステーション等の医療機関	8. 児童相談所	9. 障がい当事者団体
10. 家族会	11. 依存症支援機関・団体	12. 弁護士・司法書士
13. どことも連携せずに自事業所のみで対応	14. その他〔	〕

問17. 今後、複合的な課題を抱えている等の困難事例の相談を受けることを想定した場合、どのような機関や団体と連携したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区の地域福祉課・地域健康課・さぼーとびあ	2. 社会福祉協議会	3. 地域包括支援センター
4. 相談支援事業所	5. 他の障害福祉サービス提供事業所	6. 介護保険サービス事業所
7. 病院や訪問看護ステーション等の医療機関	8. 児童相談所	9. 障がい当事者団体
10. 家族会	11. 依存症支援機関・団体	12. 弁護士・司法書士
13. どことも連携せずに自事業所のみで対応	14. その他〔	〕

問18. 貴事業所では、他事業所・他団体との連携をはじめ、複合的な課題を抱えている等の困難事例に対する相談体制の強化に向けて、どのようなことが必要ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 区との連携促進	2. 区による連携促進に向けたコーディネート	3. 相談窓口の設置・整理
4. 他分野の理解促進	5. 関係機関との関係構築・情報共有	6. 障がい福祉サービス事業所間の連携促進
7. 人材確保	8. 職員のスキルアップ	9. 報酬や補助金の見直し
10. 特にな	11. その他〔	〕

問19. 貴事業所では、利用者の意思決定を支援する取組をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 意思決定支援責任者の配置
2. 意思決定に必要な情報提供方法を工夫
3. 意思決定支援会議の実施
4. 意思決定支援を反映したサービス提供の結果のモニタリング・評価・見直し
5. 意思決定支援の根拠となる記録等の作成
6. 意思決定支援のガイドラインを活用した研修や、事例検討などの実施
7. 特に行っていない
8. その他〔

〕

問20-1. 貴事業所は、介護保険サービスの指定を受けていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 受けている

2. 受けていない

問20-2. 介護保険サービスの指定を受けている事業所は、サービスを提供する上での課題を、介護保険サービスの指定を受けていない事業所は、利用者が障害福祉サービスから介護保険サービスへ切り替わる際の課題等があれば教えてください。(下欄に記入)

3. 事業運営の概要

問21. 貴事業所が事業を運営する上での主な課題は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 新規利用者の獲得が困難	2. 利用者の多様なニーズに応えられない
3. 利用者からの苦情や事故への対応が難しい	4. 事務作業量が多い
5. 人材確保が困難	6. 人材の定着が困難
7. 人材育成が困難	8. 責任者など中堅人材の確保・育成が困難
9. 人件費が高い	10. 運営・運転資金の確保が困難
11. 事業所の家賃が高く、確保・維持が困難	12. 近隣住民からの理解を得るのが困難
13. 他のサービス事業所との競合が激しい	14. 報酬単価が低い
15. 特に課題はない	16. その他〔 〕

問22-1. 昨年度に比べて、貴事業所における新規のサービス提供依頼者数の動向を教えてください。(あてはまるものに1つだけ○)

1. かなり増えてきている ⇒ 問22-2へ	2. 増えてきている ⇒ 問22-2へ	3. 変わらない ⇒ 問23へ
4. 減っている ⇒ 問23へ	5. かなり減っている ⇒ 問23へ	6. わからない ⇒ 問23へ

問22-2. 【問22-1 で、「1. かなり増えてきている」あるいは「2. 増えてきている」と回答した事業所にお伺いします】サービス提供依頼者数の増加に対応できていますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 対応できている ⇒ 問23へ	2. 対応できていない ⇒ 問22-3へ
-------------------	----------------------

問22-3. 【問22-2 で「2. 対応できていない」と回答した事業所にお伺いします】対応できていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 職員の数が足りないため	2. 職員やサービスの質が担保できないため
3. 施設が受入可能な定員を超えているため	4. サービスを拡張するための資金や場所がないため
5. その他〔 〕	

問23. 利用者や家族から貴事業所に寄せられる苦情はどのようなものですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. サービスの質や内容に関すること	2. 職員の態度や言葉づかい等に関すること
3. 職員の介護技術等に関すること	4. サービス提供にかかる他機関との連携等に関すること
5. サービス利用等の手続きに関すること	6. 制度やサービスの説明に関すること
7. 事故やその後の対応に関すること	8. 重要事項説明や契約に関すること
9. 情報管理に関すること	10. 利用料に関すること
11. 特に苦情はない	12. その他〔 〕

問24-1 利用者やその家族からの対応において、ハラスメント(※)と思われるケースはありますか。(あてはまるもの1つだけ○)

※ 本調査でのハラスメントとは、「身体的暴力(身体的な力を使って危害を及ぼす行為)」、「精神的暴力(個人の尊厳や人格を言葉や態度によって傷つけたり、おとしめたりする行為)」及び「セクシュアルハラスメント(意に沿わない性的誘いかけ、好意的態度の要求等、性的ないやがらせ行為)」をあわせたものとします。

1. ある	2. ない	3. わからない/把握していない
-------	-------	------------------

問24-2 利用者やその家族からのハラスメントに対しとしてどのような対策や対応を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 施設・事業所の基本方針や対応マニュアルを作成し、職員に周知している
2. 契約書、重要事項説明書等に、ハラスメントによるサービス提供中止、解除の可能性について記載・説明している
3. 相談窓口を設置するなど、相談しやすい職場環境づくりをしている
4. 特定の職員に負担が集中しないようなローテーション勤務等を整備している
5. ハラスメント対応の研修(言われたときの対処法、記録の取り方など)を実施している
6. ハラスメントをうけた当該職員と面談し、必要に応じて心のケアや配置換え等の対応を行う
7. 必要に応じて、利用者やその家族と事実確認や改善要請を行う
8. 関係機関(行政、地域包括支援センター、ケアマネジャー、弁護士、医師等)への相談や連携を行う
9. 特に取り組んでいない
10. その他〔 〕

問24-3. 利用者やその家族からのハラスメント対策として、区に実施してほしいことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. ハラスメント研修・セミナーの開催
2. マニュアル・ガイドラインの配布
3. ハラスメント相談窓口の設置
4. 自治体としての啓発活動の推進
5. 特にない
6. その他〔 〕

問25. 貴事業所では、災害発生時に備えた対策を講じていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. BCP(業務継続計画)の策定	2. BCPの定期的な見直し
3. 災害時の対応マニュアルの整備	4. 施設の耐震対策など、建物の被害を抑える取組の実施
5. 非常用備蓄(食料・水・医療品・衛生用品など)の確保	6. ライフライン(電気、ガス、水道等)が止まった場合の対策の構築
7. 災害発生時等の緊急連絡体制の構築	8. 利用者の安否確認方法の構築
9. ハザードマップや周辺事情の把握	10. 災害対策や感染症知識向上のための研修の実施
11. 定期的に事業所内の避難訓練・防災訓練を職員で実施	12. 事業所内の避難訓練・防災訓練に利用者も参加
13. 定期的に地域の避難訓練・防災訓練に参加	14. いずれも十分にできていない
15. その他〔 〕	

4. 権利擁護

問26. 現在、虐待防止のために行っている取組はありますか。ある場合は、その効果について、1～3の該当するものに○をつけてください。

取 組	(1)効果が 出ている	(2)まだ改善の 余地がある	(3)効果が 感じられない
① 事業所内・法人内部で虐待防止研修の開催	1	2	3
② 虐待防止委員会の定期的な開催と検討結果の周知	1	2	3
③ 虐待防止マニュアル・チェックリストを作成し、職員間で共有	1	2	3
④ 虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲示	1	2	3
⑤ メンタルヘルスの視点から風通しのよい職場づくりを推進	1	2	3
⑥ 障害特性の理解と支援技術等を高めるための研修等の開催	1	2	3
⑦ 特にない	1	2	3
⑧ その他 〔 〕	1	2	3

問27. 虐待を受けたと思われる障がい児・者を発見した場合の通報先を把握していますか。(あてはまるもの1つだけ○)

1. 把握している	2. 把握していない
-----------	------------

問28. これまでに貴事業所から通報したことはありますか。ある場合、該当するものを教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 貴事業所内での内容	2. 利用者の家庭内での内容
3. 他事業所内での内容	4. ない

問29. 「障害者差別解消法」等により、「合理的配慮」の提供が、事業者にも義務化されています。貴事業所は、どのような取組をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 事業所内で職員向けに研修を実施している
2. 都が実施している研修に参加している
3. 利用する障がい児・者に対して適切な対応ができるようマニュアルを作成している
4. 利用する障がい児・者から申出があった際は、話し合いの場を設けている
5. 利用する障がい児・者から申出のあった配慮が難しい場合は、区の障害福祉課等に相談する
6. 特に取り組んでいない
7. その他〔 〕

5. 障がい者総合サポートセンター（さぼーとぴあ）との連携について

問30-1. 貴事業所において、連携・活用したことがある「障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ」の部門・事業はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 相談支援部門（障がいのある方の総合相談窓口）
2. 地域交流支援部門（余暇活動、声の図書室）
3. 就労支援部門（就労移行支援事業、定着支援、たまりば）
4. 居住支援部門（自立訓練（機能・生活））
5. 人材育成事業（福祉従事者への研修の案内）
6. 施設の貸し出し（多目的室と集会室の利用方法）
7. 意思疎通支援事業（手話通訳等派遣及び手話講習会案内）
8. 短期入所事業（重症心身障がい児（者）の方などの短期入所）
9. 発達障がい支援事業（学齢期の発達障がい児の相談、療育）
10. 特に連携している部門・事業はない ⇒ 問30-2へ

問30-2. 【問30-1で「10. 特に連携している部門・事業はない」と回答した事業所にお伺いします】

特に連携していない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自事業所内・自法人内で対応可能なため
2. 他法人の事業所と連携して対応しているため
3. さぼーとぴあとの連携する必要性がある事態が発生したことがないため
4. さぼーとぴあの機能を知らなかったため
5. その他〔

〕

問31. 「障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ」と連携する際の課題はありますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 連携したい部門・事業との交流がない
2. 連携したい部門・事業の業務に関する知識が乏しく、連絡しづらい
3. 情報共有に時間を要する
4. 必要時に連絡が取れない
5. 情報のとらえ方に温度差がある
6. 特に課題はない
7. その他〔

〕

6. 大田区の障がい施策について

問32. 区の障がい施策について、ご意見などがございましたらご自由にご記入ください。(下欄に記入)

調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に封入の上、2025年11月30日(日)までにご投函ください。